

B I Mセミナー2021 vol.1

国土交通省は令和元年6月に建築物の生産プロセス・維持管理でBIM利用の推進を図るために「建築BIM推進会議」を設置しました。構造分野でも重要なツールであるB I Mについて皆さまへ知っていただきたくJSCA九州支部ではセミナーを開催します。今回は「構造設計者のための導入セミナー」と銘打って企業様を呼び講演をおこないます。B I Mに興味のある方、構造分野でのB I M活用方法や導入コストを知りたい方など良い機会となっておりますので是非ご活用ください。なお非会員の方もご参加いただけます。若手の社員もお誘いいただきますようお願いいたします。

JSCA九州支部長 今林光秀
技術委員会委員長 吉村泰広

(日 時) 第1回 : 2021年 5月 26日(水) 13:00~14:30 (協力: 株式会社大塚商会)
第2回 : 2021年 6月 16日(水) 13:00~14:30 (協力: 応用技術株式会社)

※各講演において内容が重複している部分がございます。予めご了承ください。

(開催形式) WEB配信システムZoom

(内 容) 構造設計者向けB I M導入セミナー
(BIMおよび製品説明、事例紹介、質疑応答など)

(参加費) 無料

(定 員) 各講演 400名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

(申込方法) 各講演申込欄に記載のURLもしくはQRコードより必要事項を記入のうえお申込下さい。URLは講演毎に異なりますのでご注意ください。申込が完了しましたら、記入したメールアドレスにZoomウェビナーの参加用URLが送られます。当日はその参加用URLにアクセスしてください。

(申込期限) 第1回 : 2021年 5月 24日(月)

第2回 : 2021年 6月 14日(月)

講演会および申込先の詳細はウラ面をご確認ください。

- (注意事項)
- ・記入事項に不備があった場合や二重申込があった場合には、登録が取り消される場合があります。
 - ・メールが届かない場合は、迷惑メールに分類されている可能性がありますので確認をお願いします。
 - ・誤って申込された場合は一度キャンセルの上、あらためてお申込みください。
 - ・定員がございますので、ご都合悪くなった場合は必ずキャンセル手続きをお願いします。
 - ・セミナーの受信映像や講演資料の保存(画面キャプチャ、カメラ撮影含む)、録画、録音は禁止いたします。応募いただいた受講者はこれらの禁止措置に同意いただいたものとみなします。
 - ・通信料等は参加者にてご負担ください。
 - ・JSCA建築構造士登録更新のための評価点及び建築CPD情報提供制度の対象外講習です。

(日 時)

第1回 : 2021年 5月 26日(水) 13:00~14:30

(テーマ)

構造設計者のためのBIM

講師：堀口 広太郎

1989年 日本大学 理工学部 建築学科卒 同年JFEエンジニアリング(株)入社 (旧・日本鋼管)
1993年(株)堀口工務店 入社 ※実家が建設会社；長男ではない
1997年(株)大塚商会 入社 以降、主に建築3DCADの西日本BIM&CIM支援に従事。
大手ゼネコン・組織設計事務所から中小企業の支援に取り組み中。
また関西建築技術研究会並びにRUG構造WGにて団体&ユーザー会の活動に取り組み中

(概 要)

BIMを始めるには何から着手したらよいのでしょうか。建設業界に浸透してきたBIMの基礎知識から実際の運用、BIMモデルを作成するためのソフトやBIMソフトウェアの活用法をご紹介します。企業にとってBIMを導入するには大きな投資になります。よい組織体系をつくるためにも最初の調査・試行が重要です。BIM総合サイトやRevitユーザー向けファミリー提供サイトなどの活用を通じて運用・検証のPDCAサイクルの実施をお手伝いします。また、BIMモデルを構造計算に活用するには、一貫構造計算とBIMを連携させるためのソフトやオプションが必要です。主要な一貫構造計算ソフトとBIMツールを例に、連携手法をご紹介します。

(申 込)

URL :

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ILEFEidbSLe1wcJdbay8uQ

QRコード :



※URL、QRコードは講演毎に異なりますのでご注意ください。

(日 時)

第2回 : 2021年 6月 16日(水) 13:00~14:30

(テーマ)

構造設計とBIMの利用環境・その変遷

講師：大越 潤

応用技術株式会社 ソリューション本部 toBIM推進部 シニアBIMコンサルタント
一級建築士・構造設計一級建築士・建築コスト管理士、
JSCA BIMWG委員、buildingSMART Japan構造設計小委員会委員長、
BIMライブラリ技術研究組合構造WG主査

(概 要)

BIMが日本に紹介され10年以上が経過しました。構造設計でのBIM利用は当初大手設計事務所・ゼネコンを中心に利用が推進されてきたが、最近では中小事務所での活用も行われるようになってきております。一方、導入コスト・環境整備といった条件が整っているとは言えず、その利用を躊躇うケースも多いのが実情かと思われれます。今回、構造設計者でどうBIMを活用していったら良いのか、どのような心構えをすれば良いのか、という観点で、一貫構造計算ソフトからRevitとの連携、BooT.oneを利用した構造設計とBIMについて紹介いたします。2019年に国土交通省の建築BIM推進会議が組織され、今後BIMの利用は確実に広がっていくなか、近い将来困らないため、今からその準備をはじめましょう。

(申 込)

URL :

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ISOgmlQRTt6iV0qWPgBpcg

QRコード :



※URL、QRコードは講演毎に異なりますのでご注意ください。

主催 : 日本建築構造技術者協会九州支部 技術委員会

問合せ : 日本建築構造技術者協会九州支部 技術委員会BIM-WG e-mail : jkbimwg@gmail.com

(技術委員会BIM-WGでは継続的にセミナー開催を予定しております。情報は随時お知らせします。)